

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成28年												平成29年																
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~8日	1月 ~15日	1月 ~22日	1月 ~29日	2月 ~5日	2月 ~12日	2月 ~19日	2月 ~26日	3月 ~5日	3月 ~12日	3月 ~19日	3月 ~26日	4月 ~2日	4月 ~9日	4月 ~16日	4月 ~23日	4月 ~30日
カンピロバクター	72	56	111	153	116	189	214	150	101	118	66	84	13	18	13	17	21	13	13	21	19	13	21	27	18	25	34	31	14
病原性大腸菌	140	146	163	167	150	157	240	182	166	227	180	147	21	30	29	27	36	24	26	19	27	30	20	12	13	28	11	21	12
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	3	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	12	4	2	8	12	4	19	21	12	16	4	6	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	3	2	3	3	1	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	23	20	25	14	19	32	14	24	23	27	8	15	2	2	0	2	4	1	2	4	4	2	2	4	2	2	4	5	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	11	11	16	21	20	27	24	19	19	18	14	20	4	4	5	3	5	5	5	4	4	2	4	3	3	4	1	2 (3)	6
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	3	3	1	9	10	9	4	2	2	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1
ロタウイルス	4	19	29	24	29	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	1	2
アデノウイルス	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	21	2	4	1	0	2	0	2	0	3	3	2	0	1	3	2	0	0

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
*その他の1件はアエロモナスでした。

広島県感染症発生動向週報

平成29年第17週(4月24日~4月30日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	3	結核	3	1			1		1	
三類	0	発生なし	0							
四類	1	レジオネラ症	1							1
五類全数	8	ウイルス性肝炎(E型, A型を除く)	1			1				
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2				1	1		
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		梅毒	4					3		1

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町
西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第17週 4/24~4/30)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 咽頭結膜熱

定点当たり1.17人と、例年同時期に比べて報告数が多くなっています。

咽頭結膜熱は、発熱、咽頭炎によるのどの痛み、結膜炎を主な症状とするウイルス性の疾患で、通常6月から増加しはじめ、夏季に流行します。

予防には、感染者との密接な接触を避け、手洗い・うがいを励行することが大切です。

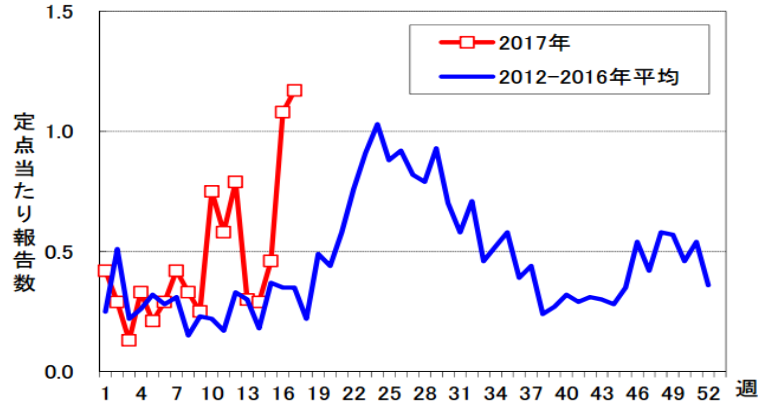
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり3.63人と、例年同時期に比べて多い状況が続いており、注意が必要です。

3. 梅毒

3件の報告があり、今年の累計は16件となりました。

咽頭結膜熱の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
フィル	インフルエンザ	32	0.86	1.95	◀	小児科	流行性耳下腺炎	7	0.29	0.61	◀
小児科	咽頭結膜熱	28	1.17	0.35	▶	眼科	RSウイルス感染症	6	0.25	0.16	▶
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	87	3.63	2.10	▶		急性出血性結膜炎	-	-	0.08	▶
	感染性胃腸炎	103	4.29	10.55	▶		流行性角結膜炎	7	0.88	0.83	▶
	水痘	14	0.58	0.76	▶	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	▶
	手足口病	79	3.29	0.24	▶		無菌性髄膜炎	-	-	-	▶
	伝染性紅斑	3	0.13	0.12	▶		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.23	▶
	突発性発しん	11	0.46	0.65	▶		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	▶
	百日咳	-	-	0.04	▶		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	-	▶
	ヘルパンギーナ	8	0.33	0.11	▶						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	2	男性(70歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	2	男性(30歳代)・エイズ
5	梅毒	3	16	女性(10歳代)、男性(30歳代)、女性(60歳代)

■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.7) 咽頭炎	14	女	2017/03/22	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
手足口病	発熱(39.9) 水疱	1	男	2017/03/20	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA6型
百日咳	細気管支炎	0	女	2017/03/04	咽頭拭い液 鼻汁	百日咳菌
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血	45	男	2017/03/18	結膜擦過物	アデノウイルス56型
その他の呼吸器疾患	発熱(39.7) 咽頭炎	12	男	2017/03/20	鼻汁	B型インフルエンザウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 気管支炎	0	男	2017/03/25	鼻汁	ライノウイルス
その他の消化器疾患	嘔吐	0	男	2017/03/20	糞便	アデノウイルス5型
その他の消化器疾患	腹痛	2	男	2017/03/27	糞便	アデノウイルス3型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載